

# 別海町郷土資料館 だより

No.318 2026年1月号

## ふるさと歴史系第3回目

## 大音の別海～お話と擦文・アイヌ文化遺跡めぐり～

～縄文時代からアイヌ文化までのお話と町内の遺跡巡りを実施します。～

- 日 時 令和8年1月31日（土）  
午前9時30分～12時
  - 場 所 郷土資料館
  - 内 容 お話「別海町の古代遺跡について」  
遺跡巡り-本別海2遺跡、本別海チャシ跡等
  - 定 員 8名
  - 申込み 1月7日（水）～29日（木）までに 電話にて、  
お名前と電話番号をお知らせください。



# 「加賀家文書」から見る 近世幕末の年中行事について！

年中行事というと年の初めは、お正月、その後、節分、ひなまつりと思い浮かぶのではないでしょ  
うか。毎年季節や特定の時期ごとに行われる行事のことを年中行事と言い、日本では、昔から季  
節ごとに、色々な年中行事やお祭りが行われ、その多くは伝統行事として今でも残っています。

元々は、中国の文化が伝わり、日本独自のものへと変化し西洋の文化も取り入れています。クリスマスやハロウィンなど馴染みが深いものもあるのは、ご承知かと思います。

さて、当館で所蔵している「加賀家文書」には、安政4年（1857）の根室会所年中行事という記録があります。（まとめたのが右の表です。）江戸時代の幕末にアイヌを集めて年中行事を行っています。

仕事に合わせて行われるものもあり、和人が申渡という決まり事をアイヌに伝え、お酒や煙草、食べ物が与えらお祝い事を行っていたようです。

別海町郷土資料館だより No.318  
発行日 令和8年1月1日  
発行所 別海町郷土資料館  
電話 別海町別海宮舞町 30 番地  
0153-75-0802 (FAX 兼)

編集後記

新しい年を迎える。12月は地震や暴風雪などの災害が発生しました。気候も暖かいようでいつもの感じではないような気がしますが、大きな災害が起きないよう願いたいものです。